

No 6

Japan
Handball
Association



社会人
 学生
 高専
 高体連
 中体連
 小学生

全国大会
 ブロック大会
 都道府県大会

男子
 女子

試合
番号
アリーナ-男47

ハンドボール

年月日 2023 年 7 月 31 日 (月)
 大会名 令和5年度全国高等学校総合体育大会ハンドボール競技大会

公式記録用紙

A 瓊浦高等学校						香川県立香川中央高等学校						B									
北海道		函館市		函館アリーナ		決勝															
前半	A 17	B 22	最終 結果	A 30	B 43	第1 延長	A	B	第2 延長	A	B	7mAD- DFAI	A	B							
7m得点/総数	A 2/3		チームタイムアウト			チームタイムアウト			B 1/1		7m得点/総数										
	1	2	後	3			1	2	3												
	0750	1306	2011																		
No.	瓊浦					G	W	2'	D	DR	No.	香川中央					G	W	2'	D	DR
1	高祖 健太										1	久保 健太									
2	井田 健心										2	上野 航瑠					1				
3	今岡 慶太										3	高尾 勇羽					11	1			
4	齋藤 真人ダニー					3					4	西川 暁生									
5 c	大田 一輝					4					5	岡 永湧					5				
6	山口 竜輝										6	佐藤 恭靖					1	1			
7	道向 優希										7	芳崎 祐太									
8	高木 蓮太										8	間島 魁琉					10				
9	中尾 一太					6					9	松原 瑞樹					1				
11	朝比奈 秀										10 c	中嶋 優翔					7	2			
12	榊 滯音										11	太田 翔也					1				
13	前田 修汰					2					12	清水 蒼空									
14	川田 陽暉					7					13	相山 波瑠					3				
15	檜垣 樹聖					8					14	川田 真吾					3				
監督A	末岡 政広										監督A	田中 潤									
役員B	本田 喬士										役員B	木村 琉空									
役員C	山川 哲治										役員C	四宮 涼楓									

A 末岡 政広 チーム役員A署名 田中 潤 B

特記事項

レフェリー	駒谷 研志	波多野 祐介	<u>駒谷 研志</u>	<u>波多野 祐介</u>
TD	高橋 容平	加藤 慶仁	<u>高橋 容平</u>	<u>加藤 慶仁</u>
MO	多田 和生		<u>多田 和生</u>	

得点(G), 警告 (W), 退場(2), 失格(D), 報告書付き失格(DR)特記事項に報告書として内容を記入

No 8



Japan Handball Association 記録用紙 ランニングスコア

試合番号 アリーナ-男47

年月日 2023年7月31日(月) 会場名 函館アリーナ 大会名 令和5年度全国高等学校総合体育大会ハンドボール競技大会

ハンドボール

A 瓊浦高等学校 30 vs 43 香川県立香川中央高等学校 B 男子 決勝

スコアボード: 瓊浦 17-22, 13-21, 7mTC

瓊浦選手リスト: No. 1-15, 監督A 末岡 政広, 役員B 本田 喬士, 役員C 山川 哲治

香川中央選手リスト: No. 1-14, 監督A 田中 潤, 役員B 木村 琉空, 役員C 四宮 涼楓

Ref 駒谷 研志 波多野 祐介, TD 高橋 容平 加藤 慶仁, MO 多田 和生

前半スコア表: 時間, 得点, 結果, 背番号

後半スコア表: 時間, 得点, 結果, 背番号

特記事項

No 7

令和5年度全国高等学校総合体育大会ハンドボール競技大会
高松宮記念杯第74回全日本高等学校ハンドボール選手権大会

試合結果・戦評報告書 **ハンドボール**

競技日	2023年7月31日(月)		会場	函館アリーナ	
種別	男子		回戦	決勝	
チーム名			チーム名		
瓊浦高等学校			香川県立香川中央高等学校		
得点合計	小計		小計	得点合計	
30	17	前半	22	43	
	13	後半	21		
		第1延長前半			
		第1延長後半			
		第2延長前半			
		第2延長後半			
		7mTC			

戦評

春の選抜王者北陸を下し、準決勝は強豪の岩国工業を接戦で下した長崎県代表 瓊浦高等学校 対 前大会、今年の春の選抜ベスト4、4年ぶりの頂点を目指す香川県代表 香川県立香川中央高等学校の決勝戦の火蓋が切られた。

香川中央のスローオフで前半戦が始まった。開始、先制したのは香川中央。香川中央のエースNo3 高尾の豪快なミドルシュートで得点。対して瓊浦もエースNo14 川田もセットプレーから得点し、1-1と両者エースの得点から試合が始まった。先に流れをつかんだのは香川中央。速攻やサイドシュートなどで着々と点数を奪い、前半開始約8分で2-7とリードしたところで瓊浦がタイムアウトを要求。タイムアウト後、香川中央に2分間退場者が出たものの香川中央No1 久保の好セーブや相山などのゴールでリードは変わらず。流れを変えたい瓊浦は7人攻撃を仕掛け、No5 大田、No15 檜垣のゴールで点差を縮めていった。瓊浦、香川中央共にセットプレーから点を奪い合い15-19で前半も終盤へ。香川中央は3回目の2分間退場者を出すも、粘りを見せ、瓊浦はチャンスを生かせず、17-22で前半を終了した。

後半、瓊浦のスローオフでスタート。後半の口火を切ったのは瓊浦No14 川田のゴール。その後互いに点を取り合うも、瓊浦No9 中尾のポストシュートやNo15 檜垣のステップシュートで22-24まで瓊浦は点差を縮めた。しかし、香川中央が速いパス回しから点数を奪っていき、点数は26-30と開き始めた。瓊浦は流れを変えようとタイムアウトを要求。タイムアウト後は互いに譲らず、点を奪い合うも、香川中央No9 松原を筆頭に連続ゴールで後半終了残り10分で28-35と香川中央がリードを広げ、瓊浦3度目のタイムアウトを要求。その後香川中央の勢いは止まることなく、5点連続得点、No1 久保の度重なる好セーブで試合を支配し、30-43で試合終了。速い攻撃と堅い守備、終始圧倒し続けた香川中央が第74回全日本高等学校ハンドボール選手権函館大会で4年ぶりの栄冠をつかんだ。タイムアップまで走り切り、多くの熱いプレーを見せた瓊浦にも多くの拍手が送られた。

記入者

清川 聡太